



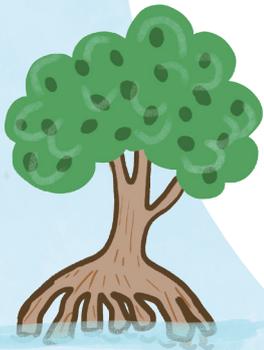
第6次 字検村 総合振興計画

基本構想

令和5(2023)年~令和14(2032)年

前期基本計画

令和5(2023)年~令和9(2027)年



令和5年3月
字検村

宇検村らしさ全開!



我が国は、人口減少と少子高齢化の一層の進行進展に加えて、新たな感染症や頻発する自然災害など、社会全体に影響を及ぼす課題に直面しています。また、デジタル技術の進歩は、私たちの暮らしに大きな変化をもたらしつつあります。

本村においても、人口減少などにより様々な課題も多くありますが、私は就任以来、村民の生命、財産、安全・安心な生活を守るため、職員と共に村政運営に取り組むとともに、住民目線のわかりやすい村政運営に努めてまいりました。

村政に取り組む中で、気づき、気づかされたことも多くあり、今後どのように村政に活かしていくか、この大きな社会変化を村の将来にどのように反映していくかが重要と考えています。

そのような中、令和3年7月に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産登録され、本村もその恵まれた豊かで貴重な自然や脈々と受け継がれてきた文化の恩恵を受け、そこに暮らす人々との調和がとれた村として注目されております。

引き続き、これまで本村で培われてきた「結いのこころ」のつながりや支え合いを大切に、村民の参画と協働を推進することにより、全ての村民が安心して生き生きと暮らし、未来を担う子どもたちが夢と希望をもって健やかに成長できるむらを目指してまいります。

その道筋となるのが、第6次宇検村総合振興計画となります。

本計画は、新たな時代潮流や本村の強みと課題を踏まえ、持続可能なむらづくりの指針となるよう、策定を進めてまいりました。

これからの10年間は、これまで築きあげられてきた姿を継承し、村のあるべき姿をより確かなものにしていくため、将来像を「奄美の自然・歴史・文化がきらめく 焼内湾を包む結いのこころでつながるむら うけん」と掲げ、その実現に向けて全力で取り組んでまいります。

今後におきましても持続的な発展を見据え、すべての村民が多様性を受け入れる風土と郷土愛を育む心を持ち得ることができるよう、「宇検らしさ」が詰まった村のブランド力向上に邁進してまいります。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、ご協力をいただきました多くの皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後の一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

令和5年3月

宇検村長

元山公知

奄美の自然・歴史・文化がきらめく

焼内湾を包む結いのところでつながるむら

うけん



